

【 保護者アンケート（択一部分） 】

- ・ A よくあてはまる B ややあてはまる を合わせてプラス評価
C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない を合わせてマイナス評価
として、経年比較してみました。

< 択一部分については、後半にまとめて、3年間のアンケート結果を比較する形でグラフを入れ、データを示しています。 >

□ プラス評価が80%以上である項目

※ ◎印の項目は、プラス評価が90%を超えている項目です。

- 項目 1 「学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。」
項目 2 「学校は家庭への連絡等、きめ細かな対応をしている。」
項目 3 「通知表は、子どもの学力や達成度がわかりやすく表されている。」
項目 4 「教職員は、子どもをよく理解している。」
項目 5 「学校は、いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる。」
◎項目 6 「学校は、生命や人権を大切に作る心や態度を育てようとしている。」
◎項目 7 「学校は、保護者や地域の人が授業を参観する機会を設けている。」
項目 8 「学校では、保護者や地域の人たちと話をする機会を設けている。」
◎項目 9 「学校では、子どもに関する個人情報を守られている。」
◎項目 10 「子どもは学校へ楽しく行っている。」
◎項目 11 「学校は決まりを守る態度を育てようとしている。」
項目 12 「学校は、楽しくわかりやすい授業に力を入れている。」
◎項目 14 「地震や台風等の場合の行動を伝えている。」

□ プラス評価が80%を下回っている項目

- 項目 13 「片山中学校区の子どもに対する取り組みについて伝えている。」

ほとんどの項目で、プラス評価が80%を超えており、平素から学校の教育活動にご理解ご協力いただいておりますことに感謝しております。中でも6項目で90%以上のプラス評価をいただきました。特に、6「生命や人権を大切に作る」は年々プラス評価が多くなり、本年度は90%を超えました。今後も保護者の皆さまがお子さまを安心して送り出すことができる学校を目指し、道徳教育をはじめ心を育む教育に、教職員一同より一層努めてまいります。

13「片山中学校区の取り組みを伝える」は、プラス評価は60%でした。片山中学校ブロックの取り組みとしまして、片山幼稚園と片山小学校、片山中学校の4校の教職員が合同で研修を行っております。合同研修会では、それぞれの成長段階ごとに目指す子ども像を共有し、幼小中一貫カリキュラム作成などを行っています。また、弁護士の宮下氏を講師に迎えて、いじめ問題の対応についてともに学びました。さらに、片山中学校見学や漢字検定などを片山中学校ブロックで連携して行っています。千一小のホームページの「片中ブロック幼小中連携」や「校長ブログ」でも幼小中連携推進計画や取り組みを紹介しておりますので、ご一読いただければ幸いです。より理解を深めていただくためにも、今後も片山中学校ブロックでの取り組みについて積極的に発信していきたいと考えております。

【 保護者アンケート（記述部分） 】

今年度もアンケートを児童数で配付した結果、502名の方からの回答をいただき、そのうち61名の方からご意見をいただきました。いずれも貴重なご意見としてお受け取りし、改善できる内容についてはすぐに改善し、可能な限り今後の学校運営や教育活動に反映してまいります。また、代表的なご意見を列挙し、紹介したいと思います。ただ、どのような問題にしても多様なご意見があり、中には全く正反対のご意見もあります。学校としましては、「子どもにとって大切なことは何か」を基軸に据え対応を進めますが、どうしても最大公約数的なことになる場合もあること、また、今の制度や財政状況の中でできることを判断しなければならないことをご理解ください。

なお、ご意見の一つひとつにはお答えできませんので、学校としての考え方を総括的に記述いたします。昨年度と同様の質問に改めてお答えしている項目もありますが、どうぞよろしく願いいたします。

学習・評価

【授業に取り組む態度は評価されないのか】

体育についてのご質問でしたが、体育に限らず、どの教科も『あゆみ』には「取り組む」や「工夫する」「考える」など、「できた」という成果だけを評価するのではない項目があります。

また、『あゆみ』において使われている「よくできた」「できた」「がんばろう」の表現は国立教育政策研究所の示すところによる「十分満足できる」「満足できる」「努力を要する」にあたります。

「できた」は最高の評価ではなくとも、満足できる状況に届いていることを示しているのです。

「あなたはもっとできる」というメッセージも必要なことがあります。『あゆみ』を持って帰った日は「よく頑張ったね」とお子様を認める機会にもしてください。

【6年生の校外行事が多すぎる】

確かにそれまでの学年と比較して6年生は、宿泊を伴うものなど、校内の行事も多い上に、水上大会・陸上大会と、2学期に入って立て続けに学校外で行事が続き、多いと感じられることと思います。

「生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するため」（「学習指導要領」体育の目標より）に、吹田市では長年にわたって体育を研究し、市内のどの小学校でも共通した到達目標をもって取り組んできました。前述の行事は、いわば吹田市の全小学校共通の、6年間の取り組みの集大成です。6年生では体育の授業の中に組み込んで、年間の予定を立てています。

もちろん他の教科もおろそかにせず、学期ごとに時間数と単元の進捗状況を確認し、確実な履修を徹底しています。

ときには行事の取り組みに疲れる児童もいて、ご心配をおかけすることもあります。ご理解をいただきたいと思っております。

授業参観

【仕事の調整のため、学期初めに行事を一覧で知らせてほしい】

行事の予定は、4月に1年分の予定をお渡ししていますので、1年間は保管してください。また、今年度の音楽会のように、途中で予定を変更せざるを得ない場合がありますが、その際はできるだけ早い時期にプリントでお伝えします。

【プール参観が悪天候で中止になった際は、教室で授業参観を】

プール参観に限らず、参観には教員も児童もある程度の準備をして臨んでいます。保護者の皆様が忙しい中で予定をあけて、参観を楽しみにしてくださっているのに、中止にしてしまうのは大変申し訳ありませんが、環境を整えて授業に臨むことで、子どもたちの本来の姿を見ていただきたいと思います。なにとぞご理解ください。

【短縮などの下校時間がわかりにくい】

行事に伴って、下校時間が変更になる場合は、学校便りなどを通して、わかりやすくお示しするように改善したいと思います。

PTA

【各種委員会の内容を教えてほしい】

入学・転入時にお渡ししている「ハンドブック」のPTAのページに、活動内容を表にして示しているものがあります。ハンドブックが見つからない場合は、担任にご相談ください。本校は地域とPTAの連携によって、学校における子どもたちのはぐくみに、大きな力を注いでいただいています。保護者の皆様はお仕事や介護など、何かとお忙しくされていると思いますが、今後も可能な限り、積極的なPTA活動への参加をお願いいたします。

その他

【アンケートの記名について】

これまでも保護者名の記入欄を設けていましたが、今年度のアンケートでは、より一層見ていただきやすい位置に記名欄を作りました。記名を求めるのは、記述していただく内容によっては、より踏み込んで詳しく状況をお尋ねしたいようなものがあるからです。無記名で書いていただくと、せっかくの提言が一方通行になってしまい、活かされないで終わることがあるのを防ぎたいのです。

お名前を書いていただいても、それがお子様の学校での教育に何らかの影響をもたらすことは決してありませんので、安心して記述していただきたいと思います。もちろん無記名であっても、重要な提言やご質問には、全体の場でできる限りお答えしたいと考えています。